

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年11月25日

計画の名称	五戸町の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）												
計画の期間	令和08年度～令和11年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	五戸町												
計画の目標	・災害に強く持続可能な下水道システムの構築に向け、対策が必要な避難所等の重要施設に接続する下水道管路等について、今後、概ね20年間で耐震化を完了することを目指す。 ・本計画では、特に規模の大きい避難所等（2施設）に接続する下水道管路等の耐震性確保を目標とする。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	340	A	340	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R8	(R9末)	R11末
1	下水道施設耐震診断調査業務による耐震診断率を0%（R8）から100%（R8）に向上させる。 避難所等重要施設に接続する下水道管路等の全延長のうち耐震診断実施延長 耐震診断実施延長／避難所等重要施設に接続する下水道管路等の全延長	0%	100%	100%
2	耐震化が必要となった管路施設等の内、特に規模の大きい避難所等に接続する管路の耐震設計率を0%（令和9年度）から100%（令和9年度）に向上させる。 避難所等重要施設（2施設）に接続する耐震化が必要な下水道管路等全延長のうち耐震詳細設計実施延長 耐震詳細設計実施延長／避難所等重要施設（2施設）に接続する耐震化が必要な下水道管路等全延長	0%	100%	100%
3	耐震化工事の実施率を0%（令和10年度）から100%（令和11年度）に向上させる。 避難所等重要施設（2施設）に接続する耐震化が必要な下水道管路等全延長のうち耐震化工事実施延長 耐震化工事実施延長／避難所等重要施設（2施設）に接続する耐震化が必要な下水道管路等全延長	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接		R08	R09				R10	R11	R12					
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	五戸町	直接	五戸町	管渠 (改築	下水道総合地震対策事業	管路施設耐震診断調査業務	五戸町	■					22		策定済
							汚水)												
	A07-002	下水道	一般	五戸町	直接	五戸町	管渠 (改築	下水道総合地震対策事業	管路施設耐震実施設計業務	五戸町		■				18		策定済
							汚水)												
水道・下水道事業	A07-003	下水道	一般	五戸町	直接	五戸町	管渠 (改築	下水道総合地震対策事業	下水道管路施設耐震化工事	五戸町			■	■		300		策定済
							汚水)												
											小計						340		
											合計						340		

事前評価チェックシート

計画の名称： 五戸町の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 ・上位計画である「五戸町上下水道耐震化計画（下水道）」と整合性はとれている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	
I. 目標の妥当性 ・災害に強く持続可能な下水道システムの構築のため、避難所等重要施設に接続する下水道管路等の耐震化を目標とした。	○
II. 計画の効果・効率性 ①整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 ・五戸町上下水道耐震化計画（下水道）の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 ②定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 ・定量的指標は、下水道施設の耐震化対策状況を的確に捉えており、明瞭性が高い。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 ・事業内容は下水道施設の耐震化であり、計画の目標と整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 ・下水道施設の耐震化により、災害時における避難所等重要施設に接続する下水道施設の機能確保が発揮される。	○
III. 計画の実現可能性 ①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性）	
III. 計画の実現可能性 ・地域毎に住民説明を行い、下水道事業に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	○
III. 計画の実現可能性 ②地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	

